

「新型コロナウイルス感染症に伴う静岡県高等学校文化連盟主催大会に関するガイドライン」  
 質疑応答（令和5年3月1日時点）

Q1 国の評価レベルに応じた会場への入場者を制限する場合の判断について

A1 下記の表を基準とし、大会の特性や会場の状況に応じて、各専門部が決定する。

◎ 国評価レベルに応じた会場への入場者制限の判断

評価レベル	入場者制限の目安	①～④の該当者
レベル4	実施する場合は原則①～③ 会場によっては、②③を制限する。	①出場生徒・顧問・部活動指導等、大会運営者 ②登録外部員 学校教職員 ③保護者・家族・学校関係者 ④一般
レベル3	原則①～③ 会場によっては、③を制限する。 条件を満たした場合は、④を可とすることもある。	
レベル2	原則①～④ 会場によっては、③④を制限する。	
レベル1		
レベル0	制限なし	

※展示部門は、各会場の入場者制限による。

Q2 無観客での保護者・家族・学校関係者の制限について

A2 以下のような制限が考えられる。

- ・一切の入場を禁止する。
- ・学校管理のもと、把握できる方で各校〇〇人まで可
- ・ビデオ等による記録や中継係等で各校〇人以内
- ・運営役員の補助(緊急時対応要員)として各校〇人可
- ・部員1人に対して保護者・家族〇人まで可

上記に加え、大会の特性や大会運営に携わる関係者の合意、会場の状況により、各専門部が決定する。

Q3 ガイドラインでは、国評価レベルに応じた大会の実施の判断において、レベル4は、原則大会は中止又は延期となるが、実施が可能な場合の判断について

A3 多くの生徒にとって高校最後の集大成となる大会(全国高総文祭等につながる大会)は、生徒の進路実現に大きく影響するものであり、必要な場合に限り開催することも考えられる。その際の決定は、各専門部が県高文連等と協議して総合的、慎重に判断する。

なお、開催に当たっては、以下の点に留意する。

- (1) 新型コロナウイルス感染症に伴う静岡県高等学校文化連盟主催大会に関するガイドライン(以下「ガイドライン」という。)を遵守し感染予防対策を徹底する。

- (2) 専門部会長は、大会開催前に高文連会長と大会を開催する理由及び感染予防対策等を協議し、大会の開催を総合的、慎重に判断する。  
また、専門部長は、大会の開催について高文連事務局に報告する。

**Q4 レベル1～3の展示部門入場者の新型コロナウイルス感染症対策について**

A4 A1の①～④の該当者を入場させる場合は、原則として以下の新型コロナウイルス感染症対策を行う。

- (1) 入場者は、手指消毒、非接触体温計による検温を必ず行う。
- (2) 会場によっては、同時に観覧する人数を制限するため入場制限を行う。
- (3) 展示品の搬入・搬出業務は、必要最低限の人数とし、「三つの密」（密閉・密集・密接）を避け時間短縮等に努める。

**Q5 レベル1～3の舞台部門入場者の新型コロナウイルス感染症対策について**

A5 A1の①～④の該当者を入場させる場合は、原則として以下の新型コロナウイルス感染症対策を行う。

- (1) 入場者は、手指消毒、非接触体温計による検温を必ず行う。
- (2) 会場によっては、入場者を制限する。

最新の「静岡県実施方針」における「催物(イベント)等の開催制限」に基づく客席数を設定する。会場の客席数を50%以下の入場制限を行う場合は、客席を1席以上の間隔を空けた使用とするなど新型コロナウイルス感染症対策を行う。

**Q6 レベル3の入場者制限の「条件を満たした場合」の条件について**

A6 例えば以下の点等が条件と考えられる。

- ・専門部や関係機関の理解が得られた上で、事前に高文連事務局へ相談し了承を得ている。
- ・①②③と④又は、①②と③④が交わらないよう動線の確保やゾーニングができています。
- ・座席等の間隔が十分に確保できている。(会場の制限の厳守)
- ・入場者を管理するために入場口において検温・消毒等を行うなどの人的配置ができています。